



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 タツタ電線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 宏也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理財務部長 (氏名) 今井 雅文

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,409	2.7	892	47.6	1,074	41.3	872	34.6
2022年3月期第2四半期	29,604	8.1	1,704	15.3	1,830	9.9	1,334	8.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 503百万円 (50.3%) 2022年3月期第2四半期 1,012百万円 (49.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	14.12	
2022年3月期第2四半期	21.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	58,704	48,117	82.0	778.84
2022年3月期	58,654	48,169	82.1	779.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 48,117百万円 2022年3月期 48,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		9.00		9.00	18.00
2023年3月期		9.00			
2023年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	6.9	2,400	16.8	2,600	16.5	2,000	14.2	32.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	70,156,394 株	2022年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,375,229 株	2022年3月期	8,375,147 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	61,781,235 株	2022年3月期2Q	61,781,838 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、企業収益、設備投資、個人消費、雇用情勢等の各面で緩やかな持ち直しの動きが見られました。世界経済も同感染症の影響が緩和される中で緩やかな持ち直しが続くことが期待されている状況にあります。しかしながら、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中国での経済活動抑制の影響が残る中で、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社製品の主要原料である銅の国内建値は、当第2四半期連結累計期間の銅国内建値平均価格は前年同期を上回る水準となりました。

この間において、インフラ電線の需要は前年同期を下回る水準で推移する一方で、産業機器電線分野では一部向け先での需要回復が続きました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国の景況悪化・ロックダウン影響等により低迷し、素材需要は、製品販売の低迷に加え半導体その他の部材不足、ユーザーの在庫調整等による影響がありました。

こうした環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は30,409百万円（前年同期比2.7%増）と増収、営業利益は892百万円（前年同期比47.6%減）、経常利益は1,074百万円（前年同期比41.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は872百万円（前年同期比34.6%減）と減益となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

インフラ電線は銅価格高止まりによる買い控えの継続および原材料価格高騰による販売価格見直しに伴う競争激化により前年同期の販売量を下回り（前年同期比11.9%減）ました。一方で銅価格が上昇したこと、また産業機器電線では一部向け先での需要回復が続いたこと等により、売上高は21,013百万円（前年同期比8.7%増）となりました。営業利益は販売価格見直し等によりマージン確保に努めましたものの、販売量の減少、原材料価格の高騰、販売価格見直しの浸透遅れおよび銅価変動影響等により20百万円（前年同期比95.1%減）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムの需要は、主要用途であるスマートフォンの販売低迷および中国ロックダウン・半導体等の部材不足・ユーザーの在庫調整等により減少（前年同期比12.8%減）し、売上高は8,263百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は1,190百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

<その他事業セグメント>

センサー、医療機器部材、環境分析の各事業は、需要回復が継続し、売上高は1,144百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益は46百万円（前年同期比600.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ50百万円増加し、58,704百万円となりました。これは短期貸付金が増加したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ102百万円増加し、10,587百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ52百万円減少し、48,117百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、繰延ヘッジ損益の減少があったこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント下落し、82.0%となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、1,448百万円となり、前期末に比べ59百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,156百万円、減価償却費の計上965百万円、未払金の増加272百万円等の資金増加要因から、法人税等の支払額404百万円等の資金減少要因を差し引いた結果、2,138百万円の収入となりました。前年同期の1,279百万円の支出に比べ3,417百万円のキャッシュ・フロー増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出1,217百万円により、1,459百万円の支出となりました。前年同期の1,721百万円の収入に比べ3,181百万円のキャッシュ・フロー減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額556百万円により、556百万円の支出となり、前年同期に比べ0百万円のキャッシュ・フロー増加となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月27日に公表した通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期第2四半期（累計）の業績予想値と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389	1,448
受取手形及び売掛金	19,419	19,678
製品	3,957	3,173
仕掛品	6,127	6,852
原材料及び貯蔵品	1,869	2,076
短期貸付金	5,686	6,002
その他	1,235	373
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	39,671	39,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,305	8,393
機械装置及び運搬具（純額）	3,259	3,085
工具、器具及び備品（純額）	417	388
土地	3,721	3,721
建設仮勘定	522	585
有形固定資産合計	16,225	16,173
無形固定資産		
ソフトウェア	146	147
ソフトウェア仮勘定	9	7
施設利用権	5	4
その他	4	2
無形固定資産合計	165	161
投資その他の資産		
投資有価証券	1,082	1,278
長期前払費用	2	0
繰延税金資産	1,030	1,268
その他	659	405
貸倒引当金	△181	△175
投資その他の資産合計	2,591	2,776
固定資産合計	18,982	19,112
資産合計	58,654	58,704

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,883	4,169
未払金	815	815
未払費用	1,518	1,532
未払法人税等	456	398
その他	1,446	1,220
流動負債合計	8,121	8,135
固定負債		
長期借入金	900	900
退職給付に係る負債	1,302	1,357
資産除去債務	68	64
繰延税金負債	1	1
その他	91	127
固定負債合計	2,363	2,451
負債合計	10,484	10,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	38,936	39,252
自己株式	△2,458	△2,459
株主資本合計	47,670	47,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	233
繰延ヘッジ損益	232	△197
為替換算調整勘定	△63	△28
退職給付に係る調整累計額	113	123
その他の包括利益累計額合計	499	130
純資産合計	48,169	48,117
負債純資産合計	58,654	58,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	29,604	30,409
売上原価	23,104	24,694
売上総利益	6,499	5,714
販売費及び一般管理費	4,795	4,822
営業利益	1,704	892
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	10	12
為替差益	54	142
補助金収入	29	0
その他	29	26
営業外収益合計	133	191
営業外費用		
支払利息	2	3
その他	4	5
営業外費用合計	7	9
経常利益	1,830	1,074
特別利益		
移転補償金	-	101
投資有価証券売却益	-	0
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	102
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	10	20
特別損失合計	10	20
税金等調整前四半期純利益	1,824	1,156
法人税、住民税及び事業税	524	342
法人税等調整額	△35	△58
法人税等合計	489	284
四半期純利益	1,334	872
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,334	872

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,334	872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	16
繰延ヘッジ損益	△356	△430
為替換算調整勘定	△3	35
退職給付に係る調整額	32	9
その他の包括利益合計	△321	△368
四半期包括利益	1,012	503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,012	503

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,824	1,156
減価償却費	930	965
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	152	70
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△5	△7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△6
受取利息及び受取配当金	△20	△21
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	△0
補助金収入	△29	△0
受取保険金	-	△5
移転補償金	-	△101
支払利息	2	3
固定資産売却損益 (△は益)	△3	0
固定資産廃棄損	13	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,189	△195
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,313	△113
その他の資産の増減額 (△は増加)	244	310
仕入債務の増減額 (△は減少)	350	265
未払金の増減額 (△は減少)	75	272
未払費用の増減額 (△は減少)	△135	12
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15	34
その他の負債の増減額 (△は減少)	281	△241
小計	△812	2,418
利息及び配当金の受取額	15	12
利息の支払額	△2	△3
移転補償金の受取額	-	109
法人税等の支払額	△508	△404
補助金の受取額	29	0
保険金の受取額	-	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,279	2,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△51
投資有価証券の売却による収入	-	5
有形固定資産の取得による支出	△1,301	△1,217
有形固定資産の売却による収入	3	1
無形固定資産の取得による支出	△20	△25
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	3,146	△180
その他	△106	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,721	△1,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△556	△556
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556	△556
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△151	59
現金及び現金同等物の期首残高	1,444	1,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,293	1,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,331	9,292	28,624	979	29,604	-	29,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	15	15	△15	-
計	19,331	9,292	28,624	994	29,619	△15	29,604
セグメント利益	407	1,646	2,053	6	2,060	△355	1,704

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△355百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,013	8,263	29,277	1,131	30,409	-	30,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	13	13	△13	-
計	21,013	8,263	29,277	1,144	30,422	△13	30,409
セグメント利益	20	1,190	1,210	46	1,257	△365	892

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△365百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。